

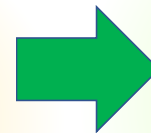
いじめ(かもしれないこと)がおこったら... にきづいたら...

明郷小の先生たちやまわりの大人は、話を聞いたその日から、解決のために動き出します。



あれって、
いじめじゃないのかなあ？

- 気づいた子は、どの先生でもいいので知らせてください。
(先生に話しにくいときは、友達や家族に話す。)
- 知らせを聞いた人は、先生に伝えてください。
→生徒指導の先生→教頭先生・校長先生
と必ず伝わります。



くわしく調べます。

- いじめをした子、された子、見ていたまわりの子
などから、それぞれに話を聞きます。
※自習にして話を聞くこともあります。
- 聞いたことを全部合わせて、起こったこと
(いじめ?)を確かめます。
※話が合わなかったら聞き直します。



ほごしゃ
保護者に
れんらく
連絡します。

- いじめをした子、いじめを
された子、両方の保護者に
連絡し、起こったことなどを
伝えます。

いじめをした子を
指導します。



- いじめをした子を
指導します。

※いじめの中身によっては、学校以外の人に
協力してもらうこともあります。

場合によっては

いじめたことを
謝る会を開きます。

- いじめをした子と保護者が、
反省の気持ちを話します。
- いじめをされた子と保護者が、
気持ちを話します。
- 学校(先生)から、これからについて話をします。



その後も様子を見守り

保護者にお知らせします。

- 指導後の様子について、
多くの教師の目で見届け
保護者にお知らせします。

